

感染症対策、少子化、超高齢化...

かすみがうらには、多くの課題が山積みです。
解決のためには、市民協働、一丸となって
市政を進めていく必要があります。

新しい市役所づくりへ 基本姿勢

1 即戦力人材の採用と 育てる人事戦略 / 人材育成

採用方法の柔軟化により、政策課題に対応可能な人材を広く集めるとともに、学びの機会を増やし、市民のためにやりがいをもって働ける職場を創ります。

2 ソフト / ハード両面の デジタル化

従来のしきたりにとらわれない大胆なデジタル化を通じて効率化とミス防止を実現し、対市民サービスの質を向上させます。

3 住民自治を実現する 政策決定プロセス

行政から市民への情報公開、市民の声を行政に反映させる仕組みづくり等を通じて、市民の皆様とともに進むかすみうら市政を徹底します。

4 「生活者目線」の 広域連携の推進

行政区域に囚われることなく、「生活者目線」の広域連携を推進し、市内のどこに住んでも充実した公共サービスが受けられる街を創ります。

金子 敏明 (かねことしあき)

生年月日:1988年7月11日

医師 元石岡第一病院内科

元厚生労働省職員

家族構成 : 妻・父・母・祖母

妻 : かすみがうら市加茂出身

父 : 元土浦二高校長、元石岡二高校長

祖母 : かすみがうら市大和田出身

曾祖父 : 志筑村長を歴任した金子政夫

祖父 : 千代田村長・千代田町長を歴任した金子政美



1988 茨城県かすみがうら市(旧千代田町)高倉に生まれる。

2001 千代田町立志筑小学校卒業 ソフトボール部

2004 千代田町立千代田中学校卒業 軟式野球部

2007 茨城県立土浦第一高等学校卒業(第59回) 硬式野球部

2015 杏林大学医学部医学科卒業 アイスホッケー部

2015 高知県・高知市企業団立高知医療センター 臨床研修医

2017 高知県健康政策部医療政策課 主査

併任:高知県・高知市企業団立高知医療センター 総合診療科

2018 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課医薬品副作用被害対策室 主査

併任:法務省訟務局民事訟務課 法務専門官

2019 厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課新開発食品保健対策室 主査

併任:同省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全企画課 主査

2020 公益社団法人地域医療振興協会 石岡第一病院 内科

[発行元]金子としあき後援会 明晴会

〒315-0051 茨城県かすみがうら市新治1827-1

Tel.080-5875-9466 FAX.0299-23-8009

✉ info@kanekotoshiaki.com

金子としあきの活動はウェブでも発信中!

kanekotoshiaki.com

金子としあき 🔍



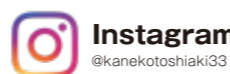
LINE@
@kanekotoshiaki



Facebook
@kanekotoshiaki33



Twitter
@kanekotoshiaki



Instagram
@kanekotoshiaki33



ふるさとへの恩返し
とともに前へ

討議資料

~感謝を胸に~

志筑小・千代田中・土浦一高を卒業し、東京の大学へ進み、その後、医師となりました。内科医として働くと同時に、厚生労働省の職員として、国の医療や健康政策に係る仕事に取り組んでいました。しかし、東京での安定した生活や地位ではなく、故郷であるかすみがうら市に戻り、石岡第一病院で働く道を選びました。

それは、なぜか。故郷かすみがうら市への「感謝の想い」からです。数年前、東京で仕事をしていた中で偶然、非常勤医師として石岡第一病院内科で働く機会をもらいました。そのとき、私は目の前でひとりの患者さんが、笑顔になっていく様子を見て、とても充実した思いを持ちました。

東京で厚労省の職員として政策をつくるよりも、有名な病院で医師として働くよりも、かすみがうら市に住む皆さん、一人ひとりの笑顔が見たいと強く感じました。

思えば、私・金子敏明は、かすみがうらの皆さんに育てていただいたのです。

千代田町長を務めた祖父・金子政美も、祖母も両親も妻も、そして私自身も。

だからこそ、私は自分ひとりの人生を歩むのではなく、故郷かすみがうらの皆さんとともに、人生を歩んでいきたい。そう思い、愛すべきふるさとである、かすみがうら市に帰ってきました。

医師として働く中で、恩返しの想いはさらに強くなりました。コロナへの対策、千代田・霞ヶ浦地域の高齢化、農業の跡継ぎや近隣自治体との関係性など、かすみがうら市が抱える課題は増える一方です。

私の大好きなかすみがうら市をこれからも、素敵な街として未来に紡いでいきたい。

そして、かすみがうら市に住む皆さんと一緒に、笑顔で楽しい人生を歩んでいきたいと、強く感じています。

金子敏明

感染症対策

1 「患者・市民第一」の感染症対策

医師としての経験を活かし、周辺自治体との連携などを通じて、必要な時に必要な医療資源（ワクチン、検査、入院など）を提供します

✓ コロナ治療および検査体制の充実

- 抗原キットの配布 ● 検査陽性者の支援
- 迅速な入院調整

✓ NEXTコロナへ向けた体制構築

- 感染症対策の一体化
- 感染症専門家との連携
- 保健人材への投資



農業

5 「かすみがうら型」農業の実現

守り（後継ぎ不足や鳥獣被害などの解決）と攻め（稼げる農業）の両面施策により、持続可能で魅力的な、市ならではの農業を実現します

✓ 後継者の確保

- 新規就農者向け支援の対象作物拡充
- 就農支援と移住支援の一体的PR
- 研修終了後の講習会開催 ● 通勤型農業の支援

✓ 鳥獣被害の抑制

- 鳥獣被害対策実施隊の編成 ● ジビエ事業の活用

✓ スマート農業の推進

- 「稼げる農業」実現に向け、最先端のICT技術でスマート農業に注力
- スマート農業教育の充実 ● 情報通信環境の整備

✓ 付加価値の向上

- 料理人とのマッチング ● 農業の組織化、法人化

医療・介護

2 安心して生涯を全うできる医療・介護

運動の習慣化や検診（健診）率向上などの予防医療、医療・歯科・介護体制の充実を通じ、安心して生涯を全うできる街を実現します

✓ 病気にさせない・重症化させない医療

- HPVワクチン拡充
- HPVワクチン未接種者への支援
- 帯状疱疹予防接種の費用助成
- こどものインフルエンザ予防接種の全額助成化
- 生活習慣病・がんなどの早期発見の促進
- データに基づく生活習慣病への適切な介入
- 歯科口腔医療の充実

✓ いつでも、必要な時に受けられる安心な医療

- ICT等による医療相談の充実
- 医療機関への交通手段の確保
- 市内への総合病院の誘致
- 医師の確保
- 遠隔医療の推進
- 産婦人科の設置・小児科の拡充



✓ プッシュ型（＝能動的な働きかけ）による高齢者ケアの推進

- 高齢者向けの安否確認サービスの充実
- 健康促進・介護予防 ● 市内事業者との連携
- 「デジタル民生委員」の設置

✓ 最期まで自分らしくいられる医療・介護体制

- 在宅療養支援診療所等の誘致
- 認知症高齢者及び家族へのサポート強化
- 認知症高齢者による事故リスクへの対応強化
- 家族による同居等への財政支援
- 介護の質向上 ● 介護施設等の報酬引き上げ
- 介護スタッフの待遇改善

まちづくり

3 「つながり」と「にぎわい」が生まれるまちづくり

広域公共交通による「快適な移動」の実現。スマートIC周辺の拠点整備、廃校利活用、憩いの場づくりなどで「にぎわい」を生み出します

✓ 移動の利便性向上

- TXの茨城空港への延伸、神立駅への接続
- 霞ヶ浦二橋の早期事業化
- 生活圏にあわせた交通網の見直し
- 過疎地域に限定した「白タク」事業

✓ 廃校の利活用

- 公的利用の推進 ● 起業・創業支援

✓ 千代田PAスマートインターチェンジ及び周辺拠点整備

- 周辺拠点の整備

✓ 複合交流施設の整備

- 民間活力による魅力ある場作り

✓ 歩崎公園の魅力創出

- 豊かな自然資源の価値向上

✓ 持続可能で市民主体なまちづくり

- 自治会活動への支援強化 ● 地域団体への財政支援
- 公民館等への「無人販売所」設置

✓ 空き家対策

- 空き家の利活用促進 ● 空き家除却者への補助

✓ 環境に配慮したまちづくり

- カーボンニュートラルなまちづくりの実現



教育・子育て

4 子どもの可能性をのばす教育・子育て

一人ひとりの好奇心や探求心に応じた公教育の充実や地域での体験・交流を通じて、子どもたちの可能性をのばす学びの街を創ります

✓ 基礎学力の底上げ

- 放課後学級の充実化 ● 学習時間の確保
- 図書館機能の充実
- 学校外教育バウチャー（クーポン）の配布
- 学校外教育における保護者負担軽減
- 従来学習の個別最適化

✓ 千代田義務教育学校の活用

- 先進的な教育の導入 ● 都市部での入学説明会

✓ 子どもの主体性向上

- キャリア観の育成
- サマーキャンプ等の誘致

✓ 教育体制の充実

- 教育長の公募
- 中学教員の長時間労働是正
- 教員の新たな教育への適応
- 発達障害児への対応 ● スクールロイヤーの設置

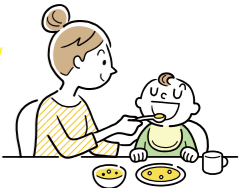


✓ ICT環境の整備・運用

- GIGAスクール構想実装のための環境整備

✓ 子育てしやすい環境整備

- 第二子以降の保育料無償化
- 市独自の奨学金制度創設
- 子育て世帯への減税検討



活動

ACTIVITY

実績

- 医療現場と政策をつなぐ会 主宰
- プロジェクトK（新しい霞ヶ関を創る若手の会）メンバー
- 特別養護老人ホーム 玉寿荘／グリーンヒル千代田 産業医
- 病児病後保育 特定非営利活動法人にんにん 元理事

- 日経BP社 Cadettoオンライン『大医への道』元ライター
- 山本雄士ゼミ 元運営スタッフ
- RyomaBase 元運営代表者